

計画事業番号	00410	事務事業名	ごみ減量化・資源化対策事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4104
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	容器包装リサイクル法、北広島市資源回収奨励金交付要綱、北広島市生ごみ たい肥化容器等購入助成金交付要綱				
事務事業開始年度	平成3年度	個別計画等	北広島市一般廃棄物処理基本計画、北広島市分別収集計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち (第 2 節) 廃棄物対策の推進 (施策 1) ごみの減量化・リサイクルの推進
2 対 象	〇市内の一般家庭から発生する生ごみ及び資源ごみ 〇資源回収団体及び集団資源回収の対象となる資源ごみ
3 目的と内容	ごみ処理量の削減に向けて、再資源化や再商品化の推進、集団資源回収の奨励、生ごみのたい肥化など、資源化の促進とリサイクル意識の高揚を図る。
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で 〇再資源化・再商品化委託事業(びん・紙・プラ) 〇集団資源回収奨励金助成事業(町内会等の団体への助成金交付) 〇生ごみ堆肥化容器等購入助成事業(コンポスト・電動生ごみ処理機) 〇廃棄物減量化推進事業交付金(減量化活動団体への交付金) 平成28年度から、生ごみ分別促進活動(ごみステーションでの啓発、事業所への分別指導など)を実施。 2 9 年 度 昨年度と同様に 〇再資源化・再商品化委託事業(びん・紙・プラ) 〇集団資源回収奨励金助成事業(町内会等の団体への助成金交付) 〇生ごみ堆肥化容器等購入助成事業(コンポスト・電動生ごみ処理機) 〇廃棄物減量化推進事業交付金(減量化活動団体への交付金) 〇生ごみ分別促進活動(ごみステーションでの啓発、事業所への分別指導など)

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入 助成 廃棄物減量化の推進	再資源化・再商品化委託 (388千円) 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入 助成(337千円) 廃棄物減量化の推進 (300千円) 生ごみ(家庭系・事業系)の 分別促進	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購 入助成 廃棄物減量化の推進 生ごみ(家庭系・事業系) の分別促進 ミックスペーパー資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購 入助成 廃棄物減量化の推進 生ごみ(家庭系・事業系) の分別促進 ミックスペーパー資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購 入助成 廃棄物減量化の推進 生ごみ(家庭系・事業系) の分別促進 ミックスペーパー資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購 入助成 廃棄物減量化の推進 生ごみ(家庭系・事業系) の分別促進 ミックスペーパー資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購 入助成 廃棄物減量化の推進 生ごみ(家庭系・事業系) の分別促進 ミックスペーパー資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購 入助成 廃棄物減量化の推進 生ごみ(家庭系・事業系) の分別促進 ミックスペーパー資源化

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	拡 大	これまでリサイクル意識の向上、ごみの資源化・減量化に向けて生ごみ分別促進など各種取組みを進めてきたが、さらなる資源化・減量化に向けて普通ごみの組成分析での大きな割合を占める雑紙をターゲットとしたミックスペーパーの資源化を取り組んでいきたい。(2017推進計画で拡大の要求済み)		
2次評価	保 留	2017推進計画の決定による。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			16,742		18,859		19,957		19,957	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	16,742		18,859		19,957		19,957	
		一般財源	0		0		0		0	
	① 合計	16,742		18,859		19,957		19,957		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.10	0.00	1.10	0.00	1.10	0.00	1.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	9,240	0	9,240	0	9,240	0	9,240	0	
総事業費①+④			25,982		28,099		29,197		29,197	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	①回収団体登録数	目標値	団体	160		160		160		160	
		実績値		127							
	②奨励金交付額	目標値	千円	12,000		12,000		12,000		12,000	
		実績値		10,685							
③集団資源回収量	目標値	t	3,000		3,000		3,000		3,000		
	実績値		2,671								
④生ごみ分別啓発活動回数 (ごみステーション啓発回数+事業所 訪問指導回数)	目標値	回	30		50		50		50		
	実績値		31								
成果指標	① 一般廃棄物処理量 収集ごみ+直接搬入ごみ	目標値	t	15,993		15,948		15,902		15,857	
		実績値		17,944							
	② 資源化量	目標値	t	5,341		5,329		5,316		5,305	
		【指標の定義(算式等)】 実績値		4,625							
③	目標値										
	【指標の定義(算式等)】 実績値										

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	一般廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、行政の責任において行うものであり、最終処分場の延命化を図るためには、排出段階からごみの減量化、資源化を進めることが必要であることから妥当である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	資源回収奨励金の交付により、リサイクル意識の向上やごみの資源化が図られ、最終処分場の延命化に寄与している。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	排出者の分別の徹底により、ごみの減量化や資源化が図られることから、分別の徹底に向けた分別方法の周知など、より一層の啓発活動が必要である。また、普通ごみの組成分析での大きな割合を占める雑紙をターゲットとしたミックスペーパーの資源化を取り組んでいきたい。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	堆肥化容器等の購入に対する助成や資源回収奨励金の交付により、ごみの減量化、資源化が進み、最終処分場の延命化に繋がっていることから、コストの削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 410

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	廃棄物減量化推進事業交付金		
交付先の名称 及び代表者名	北広島環境市民の会	設立年	平成16年
構成員(団体)数	個人会員42名、法人会員5団体、賛助会員9名 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	北広島環境を、より良い状態で次の世代に引き継ぐことを目標として、廃棄物の減量化をはじめ、資源の有効利用のために市民の手で出来ることを幅広く行う。		
交付先団体等の 活動内容	1 生ごみ堆肥化事業 ①コンポスト、段ボールを使った生ごみ堆肥化講習会(年5回開催 延べ90名参加) ②拠点でのミニ堆肥化講習会等(年5回開催 延べ60名参加)など実施 2 環境教育講習会 ・子ども見学会(25名)、講演会(50名)、リサイクルミニ講座(年12回開催 延べ61名参加)など実施		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	300	300	300	
	会費	128	118	122	
	寄附金	10	18	15	
	講習会参加費等	71	73	70	
	購買益	13	11	15	
	繰越金	98	90	51	
	収 入 合 計 (B)	620	610	573	
支 出	会議・行事・活動費	245	249	265	
	旅費交通費	19	23	20	
	研修費	10	8	10	
	事務・通信費	69	77	75	
	展示園維持費	42	29	30	
	広報費	41	46	40	
	雑費・事務所維持費・予備費	105	127	133	
支 出 合 計 (C)	531	559	573		
繰 越 金	収 入 (B) - 支 出 (C)	89	51	0	
全体支出に対する本市 補助・交付金の割合 (A)÷(C)		56 %	54 %	52 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		研修費、雑費・事務所維持費・予備費を除く	研修費、雑費・事務所維持費・予備費を除く	研修費、雑費・事務所維持費・予備費を除く	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		375	378	430	
対象経費に対する補助または交付金の割合 (A)÷(D)		80 %	79 %	70 %	
補助・交付金の算出根拠		北広島市廃棄物減量化推進事業交付金交付要領(交付金の額)第3条 交付金の額は、交付対象経費の額とし、予算の範囲内とする。			